

令和4(2022)年度事業報告について

令和4(2022)年度は、「コロナ禍の克服に向けてさらなる学員の連帯を！」という行動指針のもと、以下の事業を行った。

【令和4(2022)年度のトピック】

1. 『学員時報』の編集体制を再編

令和4(2022)年6月の役員改選に伴い、『学員時報』の編集体制を再編した。山本卓副会長が編集長、福島民報社の社長経験者の高橋雅行副会長が編集長代行に就任し、新任の副会長、『学員時報』の編集経験者、大学のホットな情報を持つ事務局長や広報室長を編集委員に迎え、委員の力を結集してコンセプト作りから始めた。

「副会長座談会」、「白門人（はくもんびと）インタビュー」、「白門特派員通信」などの連載を中心に「白門人（はくもんびと）に役立つ情報を届ける」紙面作りを行っている。

2. 「海外支部を結ぶ第4回白門オンライン・ミーティング with 国際センター」を開催

令和4(2022)年10月20日、大学の国際センターと連携し、海外支部を結んで「第4回白門オンライン・ミーティング」を開催し、ニューヨーク、ロサンゼルス、ジャカルタ、上海、中国留学生、マレーシア、バンクーバーの7支部が参加した。同企画はホームカミングデー企画として動画配信した。

3. 多摩キャンパスの白門祭実行委員会を支援

多摩キャンパスの白門祭実行委員会の学生からの陳情を受け、学員会内で検討した結果、支援する場合の原資となる「白門支援金」の用途を検討する「白門支援金事業 WG」のメンバーが学生達とオンラインで意見交換を行い、会長・副会長会議の議を経て支援を決定した。

具体的には、中央大学の学園祭である白門祭のリアル開催に際し、卒業生を含む近隣地域から参加する住民も配布対象とするパンフレットの製作費用の一部として50万円を支援した。

4. 第1回学員薫風賞の表彰式を開催

学員薫風賞は、「広く学員に敬愛され、社会に新緑の間からの快い風のような薫風を吹き込むことに顕著な業績があった新進気鋭の学員について、その栄誉を讃える」ことを目的として、令和3(2021)年度に設置した賞である。

令和4(2022)年度は、第1回の受賞者であるAIBA世界ボクシング選手権金メダリストの岡澤セオン選手と手話番組が評価された岡山放送の「ゼロ・プロジェクト」国際賞受賞に貢献した篠田吉央アナウンサーの表彰式をホームカミングデーで行った。

5. ウクライナ国籍の留学生支援を始動

学員会では、東京江戸川区支部、大和白門会支部のウクライナ支援活動をきっかけに、久野会長がウクライナ駐日大使と懇談を行い、その中で「就学前に日本語を習得できる環境がほしい」というニーズをキャッチしたことで、この計画が始動した。

具体的には、本部内に「ウクライナ国籍留学生支援WG」を立ち上げ、中央大学に選科生として来日するウクライナ国籍の留学生に対して、来日前にオンラインの日本語講座を提供した。

【令和4(2022)年度学員会事業報告：基本事業の実績】

事業	個別計画	実績	
学員に関する事業	(1)学員表彰	永年在任学員表彰	●4月14日の選考委員会を経て、5月21日に3年分の表彰を行った。 令和2(2020)年11人 令和3(2021)年13人 令和4(2022)年11人
		推薦学員	●4月14日の選考委員会を経て、5月16日の理事会で承認した。5人
		学員栄誉賞	●令和4(2022)年度は該当なし
		学員薫風賞	●令和3(2021)年度に決定した2名につき、11月27日のホームカミングデーの際に授賞式を行った。 岡澤セオン氏(ボクシング選手) 篠田吉央氏(岡山放送アナウンサー)
		学員会会長賞・会長奨励賞	●スポーツ分野の学員について、学員体育会会長の推薦に基づき、2月16日の会長・副会長会議で承認した。 <会長賞> 個人(5万円)14件
	(2)学員サービス	学員交流行事	●10月20日、大学の国際センターと連携し、海外支部による「第4回白門オンラインミーティング」を開催し、7支部が参加した。同企画はホームカミングデー企画として動画配信した。
		白門サロン	●東京：令和5年度より駿河台キャンパス19階 ●大阪：近畿白門サロン(ガーデンシティクラブ大阪)
		会議室貸出	●一ツ橋ビル：会議室3室を貸し出した。
		大学スポーツ応援	●大学スポーツの観戦チケットを配付している。 東都大学野球：神宮球場春季・秋季562枚 ●大学スポーツ応援用のノポリ、マフラータオルを製作し、希望する支部に提供した。
		白門ゴルフ	●中止
		白門駅伝	●11月9日～22日で、前年と同様、アプリ「TATTA」を使用してオンラインで開催。ホームカミングデーで表彰式を行った。エントリー306人。
		白門レガッタ	●中止
		『学員時報』中央俳壇	●『学員時報』に「中央俳壇」という投稿コーナーを設置している。 ●選者が水見壽男氏から大高満範氏に交代した。
	(3)若手	オンライン・ミーティング	●令和4(2022)年度は開催できなかった。

事業		個別計画	実績
支部に関する事業	(1)支部活動支援	支部活動支援	●支部活動支援費支給 基準額 5 万円：19 支部 3 年継続 10 万円：90 支部
		支部活性化支援	●申請に基づき 3 万円補助：19 支部 * 令和 4(2022)年度までの時限措置。
		支部 Web サイト開設支援	●新規開設時のみ 5 万円補助：3 支部
		支部「進路(就職)相談会」開催補助	●10 万円を上限に補助：5 支部
		支部「講演会」講師料補助	●2 万円を上限に補助：12 支部
		支部「記念誌」発行補助	●10 万円を上限に補助：6 支部
		学術講演会開催補助、	●10 万円補助：25 支部
	(2)ネットワーク強化	地域ブロック交流	●11 月 11 日「九州沖縄支部長会議」を開催した。(九州・沖縄ブロック) ●12 月 14 日「プロ野球入団選手激励会」を開催した。(白門近畿ブロック)
		ブロック旗贈呈	●地域ブロック結成時にブロック旗贈呈 令和 4 年度：0 件
		大学知名度向上貢献地域交流補助	●10 万円を上限：2 件 東京江戸川支部：ウクライナ支援平和募金 東京港区支部：国際交流講演会 ●50 万円を上限：2 件 会長・副会長会議決裁 流山白門会支部：すしざんまい社長講演会 長野県中信支部：法曹キャリアイベント
(3)新支部結成	支部新規結成支援	●支部結成時に 15 万円補助・支部旗贈呈 令和 4 年度：0 件、令和 5 年度：2 件予定。	
大学に関する事業	(1)大学支援	大学の中長期事業計画への協力・支援	●中央大学との関係を密にし、「Chuo Vision 2025」に基づく中央大学の事業を支援することを学員会の基本方針としている。
		大学への施設等支援	●令和 4(2022)年度は該当なし
		大学スポーツ強化支援	●大学主催の「学生 3 大駅伝オンライン応援企画」に協力した。
		白門飛躍募金活動への協力・支援	●大学の募金推進本部及び募金連絡調整会議に委員を選出している。
		ホームカミングデー協賛	●第 31 回ホームカミングデーに運営委員(含む副委員長)、実行委員(含む正副委員長)を選出した。 ●学員会企画を提供した。
		大学の社会貢献活動への協力・支援	●ウクライナ国籍留学生への入学前日本語教育プログラムを展開中。

事業		個別計画	実績
事業 (大学に関する 続き)	(2)父母連絡会 との連携	父母連絡会支部との交流	<ul style="list-style-type: none"> ●例年の大学主催の「父母連絡会」「就職懇談会」への協力は、コロナ禍で規模を縮小したため実行できなかった。 ●地域独自の交流として、福岡での就職懇談会、出雲駅伝の合同応援を行った。
	学生に関する事業	(1)学生表彰	学員会会長賞・会長奨励賞
(2)学生支援		卒業生への記念品贈呈	●卒業生に「COACH オリジナルマグカップ」を贈呈した。
		卒業パーティ後援	●令和4(2022)年度は開催されなかった。
		在学生への『学員時報』送付	●2年次以上の学生の父母宛に、年4回『学員時報』を送付した。
		在学生への就職活動対策支援	<ul style="list-style-type: none"> ●学員会主催でクレセント・アカデミーに就職活動対策講座を開講した。 ES対策オンライン講座@2,500円×53人 面接対策オンライン講座@5,000円×42人
		白門「学生活動スタートアップ」支援金事業	<ul style="list-style-type: none"> ●学長が推薦する在学生(団体・個人)の活動のスタートアップを支援する事業として、10万円を上限に助成した。 ●5～6月募集、7月選考、7月末支援金支給、翌年3月報告会開催。 助成：9件
		白門祭への協力	●多摩キャンパスの白門祭実行委員会に、「白門祭パンフレット」制作費として50万円補助した。
		生協福引への景品提供	●令和4(2022)年度は開催されなかった。
		学生ボランティア支援	●ボランティアセンターに在庫Tシャツを提供した。
奨学金	(1)白門奨学会	白門奨学会への寄附	●学員カードの提携手数料571,047円を白門奨学会へ寄付した。
本部事業	(1)学員会運営	支部長会議開催	●5月21日、多摩キャンパスにて開催した。
		定時協議員会・総会開催	●5月21日、多摩キャンパスにて開催した。
		会長・副会長会議開催	●8月を除く毎月、年間11回開催した。
		幹事会開催	●①4月14日、②1月19日、③3月16日に開催した。
	(2)財政基盤の 確立	学員会財政基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> ●会費収入：119,370,000円 代理徴収：111,600,000円 既卒者会費：7,770,000円 ●白門支援金収入：38,361,014円

事業		個別計画	実績
本部事業	(3) 学会の活性化	年次支部解散後のフォロー	●「生涯活躍」担当の副会長を配置した。
		SDGs 推進	●「SDGs」生涯活躍」担当の副会長を配置した。
	(4) 白門支援金事業	募金、支援事業選定	<ul style="list-style-type: none"> ●『学員時報』の7月号、1月号に振込用紙を封入し支援金の依頼を行った。 ●支援金の使途は白門支援金事業 WG で検討し、学員支援、学生支援、大学スポーツ等の強化支援の事業費とした。 ●白門支援金の決算報告は後掲する。
広報に関する事業	(1) 機関紙発行	『学員時報』発行	<ul style="list-style-type: none"> ●6月より『学員時報』編集体制を再編した。 ●デジタル化推進の検討を開始した。 ●『学員時報』を4,7,11,1月の4回発行した。 4月号：152,500部 7月号：225,000部 11月号：156,000部 合計 1月号：154,600部 688,100部
	(2) Web サイト運営	Web サイト『学員時報オンライン』	●『学員時報』刷新に伴い、Web サイト『学員時報オンライン』のコンテンツを充実した。
	(3) 学会広報	学会リーフレット制作	●内容を精査し、2種類を1種類に整理した。
		キミハルシネマ・フェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ●長編第一弾として、多摩キャンパスをロケ地とした『MOON and GOLDFISH』（飯塚冬酒監督）を製作協力した。 ●11月27日のオンラインでのホームカミングデーの終了後にオンラインで限定公開し、令和5(2023)年に劇場公開の予定。

【学員会本部所管の会議、委員会、報告会等】

名称	頻度	令和4(2022)年度の状況
定時協議員会・定時学員総会	年1回	令和4(2022)年5月21日(土) ●駿河台記念館建替え中のため、多摩キャンパスで開催 ●コロナ禍につき、懇親会は中止、例年2日間開催を1日で開催
幹事会	年3回	第1回：令和4(2022)年4月14日(木) 第2回：令和5(2023)年1月19日(木) 第3回：令和5(2023)年3月16日(木)
全国支部長会議	年1回	令和4(2022)年5月21日(土) ●コロナ禍につき、大学主催の招待会は中止
会長・副会長会議	年11回	8月を除く、毎月第3木曜日に開催 ●6月より副会長が20人から25人に増員
白門オンライン・ミーティング	随時	第4回：令和4(2022)年10月20日(木) ●大学の国際センターと連携、海外支部を対象 ●海外7支部が参加
各種役員選考委員会	3年に1回	【会長選考委員会】 第2回：令和4(2022)年4月7日(木) 【副会長選考委員会】 第2回：令和4(2022)年4月7日(木) 【幹事及び会計監事選考委員会】 第2回：令和4(2022)年4月7日(木) ●各委員会とも、第1回は前年度の令和4(2022)年2月17日に開催
表彰学員選考委員会 推薦学員選考委員会	年1回	令和4(2022)年4月14日(木) ●選考委員は同一人
若手学員委員会	随時	
『学員時報』編集会議	月1回	令和4年(2022)年6月より、毎月第3木曜日に開催
各種WG	随時	【広報戦略WG】令和4(2022)年5月まで 【諸問題検討WG】 【白門支援金事業WG】 【白門駅伝大会WG】 【大学知名度向上貢献地域交流審査WG】 【ウクライナ国籍留学生支援WG】 【支部活動応援WG】
白門「学生活動スタートアップ」支援金制度 活動報告会、評価委員会	年1回	活動報告会：令和5(2023)年3月16日(木) 評価委員会：令和5(2023)年3月16日(木)